

2021・2022 年度青森県設備投資計画調査

I. 調査要領

1. 調査対象 原則として資本金1億円以上の民間法人企業を対象(ただし、金融保険業などを除く)
2. 調査方法 郵送によるアンケート方式(調査票送付。必要に応じ電話聞き取り等により補足)
3. 調査時期 2022年6月24日を期日として実施(回答時期は主として6月)
4. 回答状況 青森県内への設備投資回答企業数 239社
回答率 82.1%(青森県本社所在企業ベース、参考:全国回答率 57.9%)
5. 当行調査の特色
 - (1) 工事地点ベース…回答企業の本社所在地にかかわらず、青森県内への設備投資額を集計
 - (2) 主業基準分類…原則として、主業基準分類(企業の主たる業種に基づき分類)で集計
 - (3) 設備投資額…自社(子会社、関係会社を含まない)の有形固定資産に対する国内投資額
6. 調査時点と対象年度 年1回実施。各年度について計画から実績化するまで合計3回の調査を行う。

調査年 \ 対象年度	2021年度	2022年度	2023年度
2021年	当年度計画	翌年度計画	
2022年	前年度実績	当年度計画	
2023年		前年度実績	当年度計画
2024年			前年度実績

(注) 本文および図表の数値に関する注意事項

1. 投資額、増減額は、億円未満を四捨五入して表示。このため内訳の合計が一致しない場合がある。
2. 増減率、寄与度、構成比は、百万円単位の投資額をもとに算出。
3. 当資料における「その他製造業」「その他非製造業」の業種分類。その他製造業:当資料に列挙している業種に分類されない製造業。その他非製造業:当資料に列挙している業種に分類されない非製造業。

【お問い合わせ先】 株式会社日本政策投資銀行 青森事務所 (TEL:017-773-0911)

II. 青森県設備投資動向

要旨（2021・2022年度計画）

1. 青森県の2022年度設備投資計画は、非製造業が二桁の減少となるものの、製造業が大幅に増加することから、全産業では4.2%増加する。
2. 製造業は、生産設備の維持更新投資が一段落する石油などが減少するものの、世の中のDX化などを背景に引き続き旺盛な半導体関連投資がみられる電気機械のほか、既存の生産設備の維持更新投資がおこなわれる鉄鋼や紙・パルプなどが増加することから32.0%と大幅に増加する。
3. 非製造業は、原発関連施設への投資が行われる電力などが増加するものの、船舶建造への投資が一段落する運輸のほか、放送設備の更新投資が完了した通信・情報などが減少することから、全体では▲10.9%と二桁の減少となる。

表 1 2021・2022年度 青森県設備投資動向の概要

(億円、%)

	投資額		増減率		
	2021年度 実績	2022年度 計画		(参考)	
				東北	全国
全産業	459	478	4.2	36.7	23.4
(除電力・ガス)	(440)	(404)	(▲8.3)	(38.5)	(22.1)
製造業	161	213	32.0	60.3	24.8
非製造業	297	265	▲10.9	10.7	22.8
(除電力・ガス)	(279)	(191)	(▲31.6)	(8.5)	(20.9)

表 2-1 青森県設備投資額増減率長期推移

(%)

	実績											計画
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21 (今回)	'22 (今回)
全産業	15.7	▲11.6	3.3	5.8	▲18.6	16.4	71.0	▲42.7	▲18.1	10.9	89.7	4.2
(除く電力・ガス)	(89.9)	(▲32.4)	(24.3)	(30.6)	(▲40.3)	(▲2.3)	(5.1)	(13.4)	(▲11.2)	(▲13.3)	(48.6)	(▲8.3)
製造業	109.4	▲46.0	28.1	79.2	▲50.6	▲15.6	▲22.9	22.6	▲22.1	23.3	▲3.0	32.0
非製造業	2.8	▲1.9	▲0.4	▲5.5	▲11.1	20.5	79.8	▲45.3	▲17.8	9.9	98.1	▲10.9
(除く電力・ガス)	(35.9)	(11.9)	(19.0)	(▲31.7)	(▲8.6)	(20.3)	(46.7)	(7.2)	(▲3.5)	(▲34.5)	(107.0)	(▲31.6)

表 2-2 【増減率長期推移グラフ】

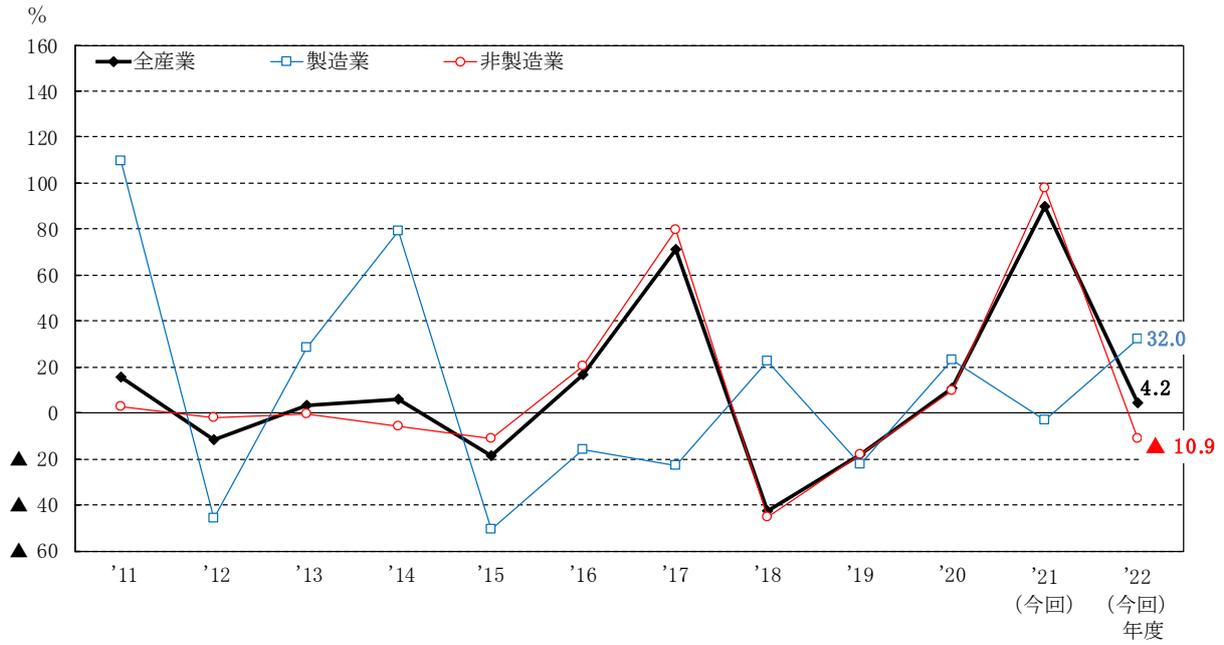


表 2-3 【増減率長期推移グラフ】 (除電力・ガス)

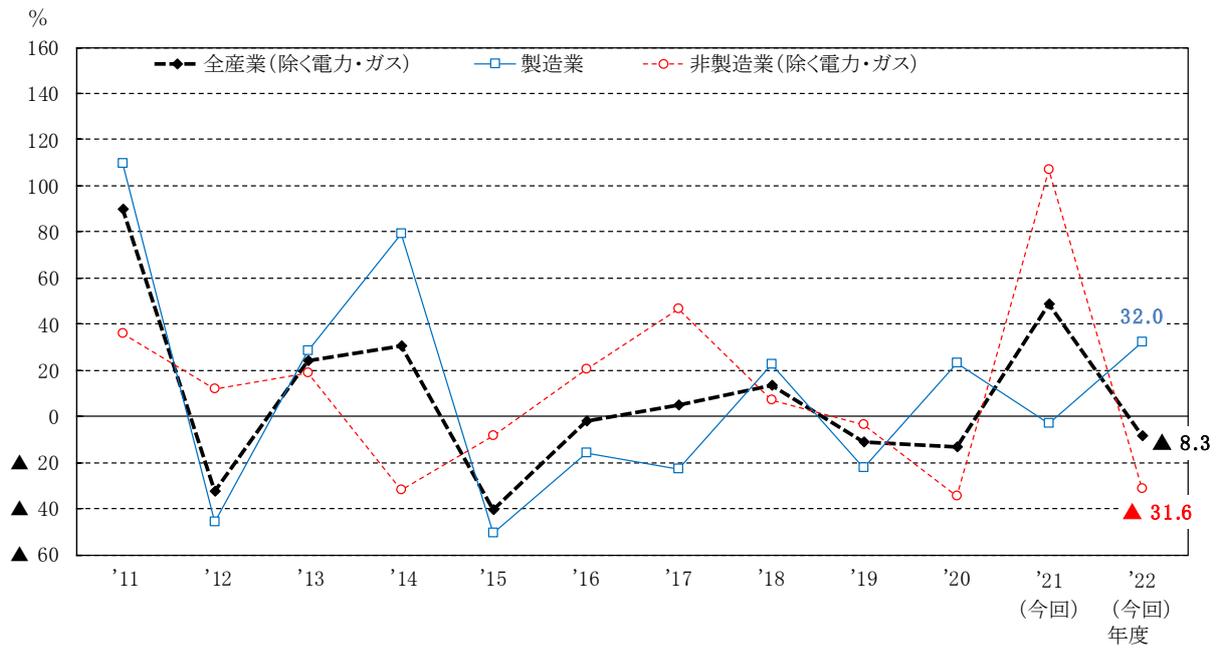


表3 2021・2022年度 青森県業種別設備投資動向

(億円、%)

回答件数 239件	投資額			寄与度	構成比	
	2021年度	2022年度	増減率		2021年度	2022年度
全産業	459	478	4.2	4.2	100.0	100.0
製造業	161	213	32.0	11.3	35.2	44.6
食品	10	13	28.7	0.6	2.3	2.8
繊維	0	0	-	-	0.0	0.0
紙・パルプ	13	21	57.3	1.7	2.9	4.4
化学	0	1	107.7	0.1	0.1	0.1
石油	13	6	▲ 55.6	▲ 1.6	2.9	1.2
窯業・土石	20	14	▲ 29.2	▲ 1.3	4.4	3.0
鉄鋼	13	31	137.0	3.9	2.9	6.5
非鉄金属	3	0	▲ 100.0	▲ 0.6	0.6	0.0
一般機械	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
電気機械	74	118	58.5	9.5	16.2	24.6
精密機械	9	4	▲ 53.7	▲ 1.0	1.9	0.9
輸送用機械	2	1	▲ 33.3	▲ 0.1	0.3	0.2
その他製造業	4	4	6.0	0.1	0.8	0.9
非製造業	297	265	▲ 10.9	▲ 7.0	64.8	55.4
建設	10	3	▲ 66.9	▲ 1.4	2.1	0.7
卸売・小売	54	49	▲ 9.8	▲ 1.2	11.9	10.3
不動産	9	9	▲ 5.1	▲ 0.1	2.0	1.9
運輸	118	19	▲ 83.5	▲ 21.4	25.7	4.1
電力・ガス	19	74	299.3	12.2	4.1	15.6
通信・情報	24	11	▲ 53.6	▲ 2.8	5.3	2.3
リース	6	5	▲ 21.7	▲ 0.3	1.3	1.0
サービス	32	79	142.1	10.1	7.1	16.5
その他非製造業	24	15	▲ 37.8	▲ 2.0	5.3	3.2
全産業(除電力・ガス)	440	404	▲ 8.3	▲ 7.9	95.9	84.4
非製造業(除電力・ガス)	279	191	▲ 31.6	▲ 19.2	60.8	39.9

※寄与度は、対象となる値にその構成要素である特定の値がどれだけの割合で影響を与えたかをとらえるものである。

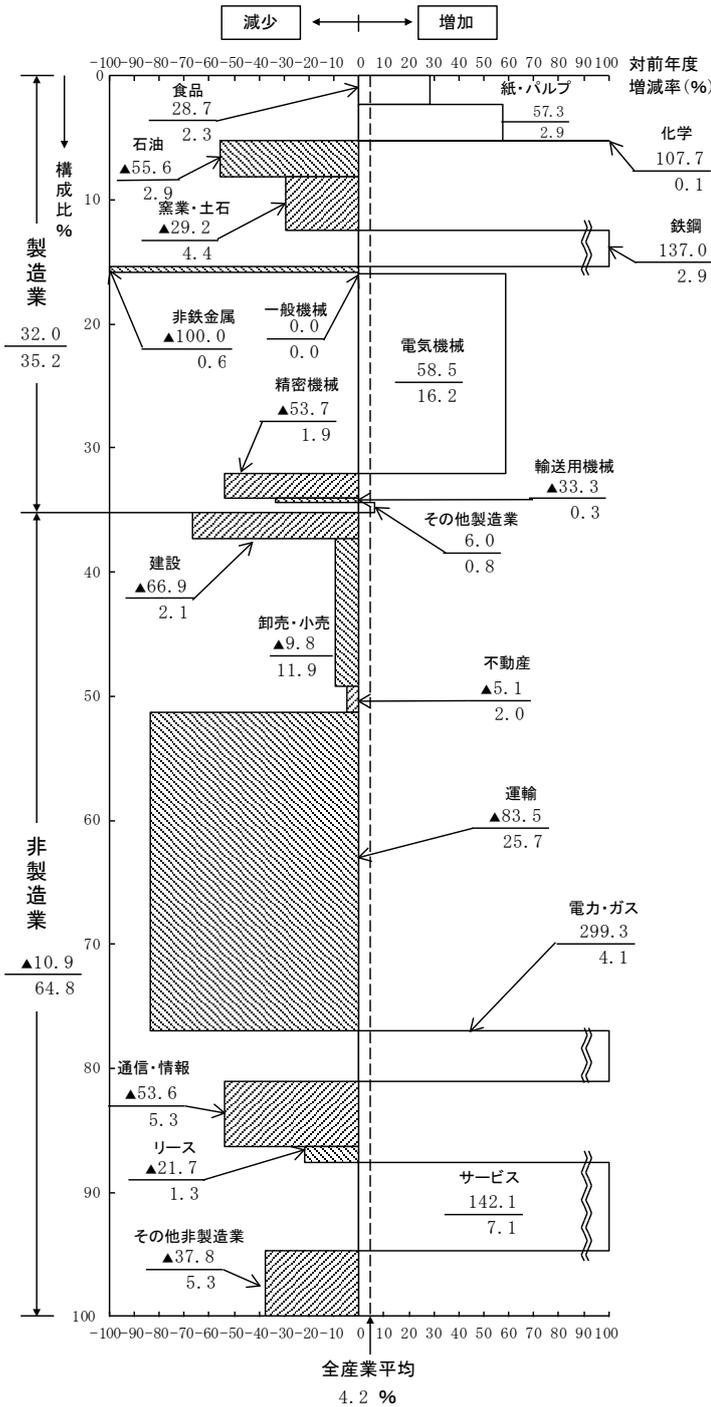
計算式は次の通り 寄与度＝今年度各業種増減額÷前年度全産業投資額×100

例：食品 寄与度＝(13-10)÷459×100＝0.6(%)

表4-1 2021・2022年度 業種別設備投資動向

青森

数字は 2022年度対前年度増減率
2021年度 構成比



東北

数字は 2022年度対前年度増減率
2021年度 構成比

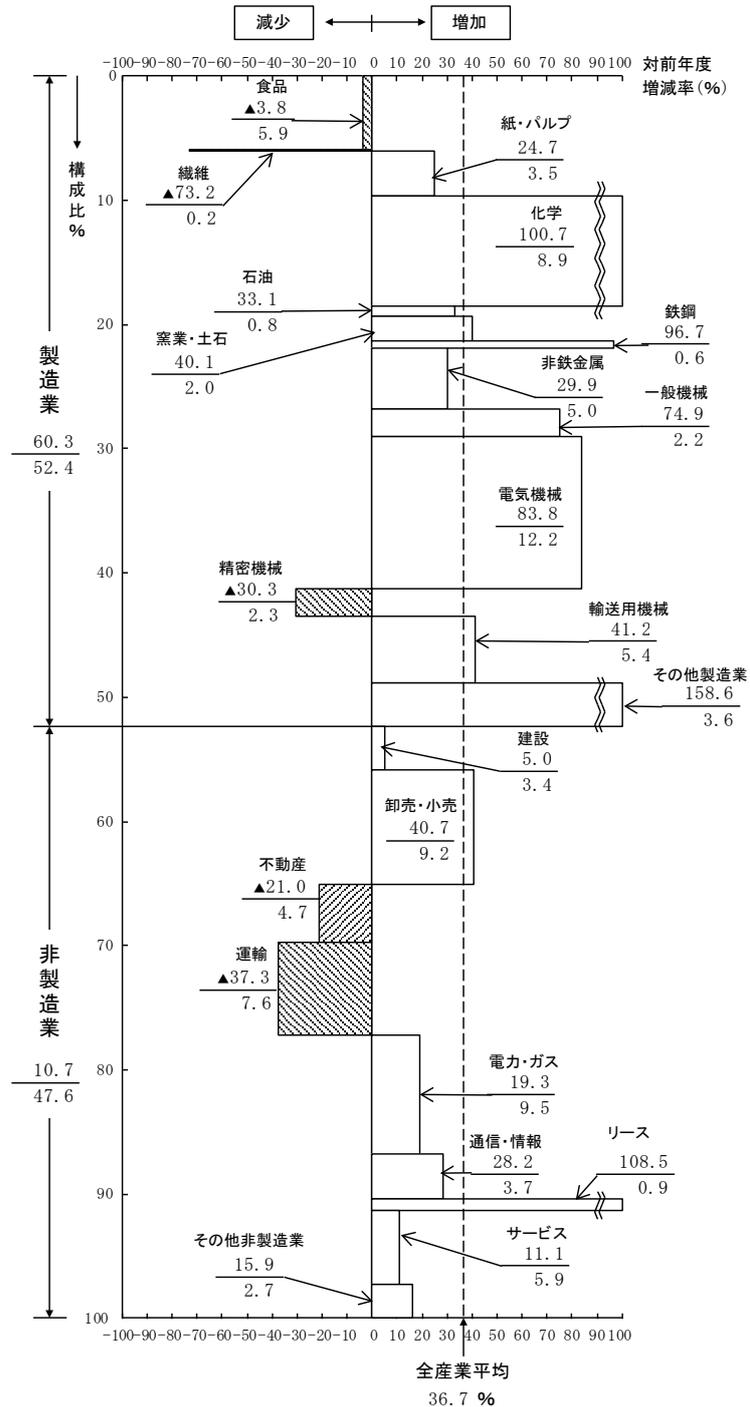
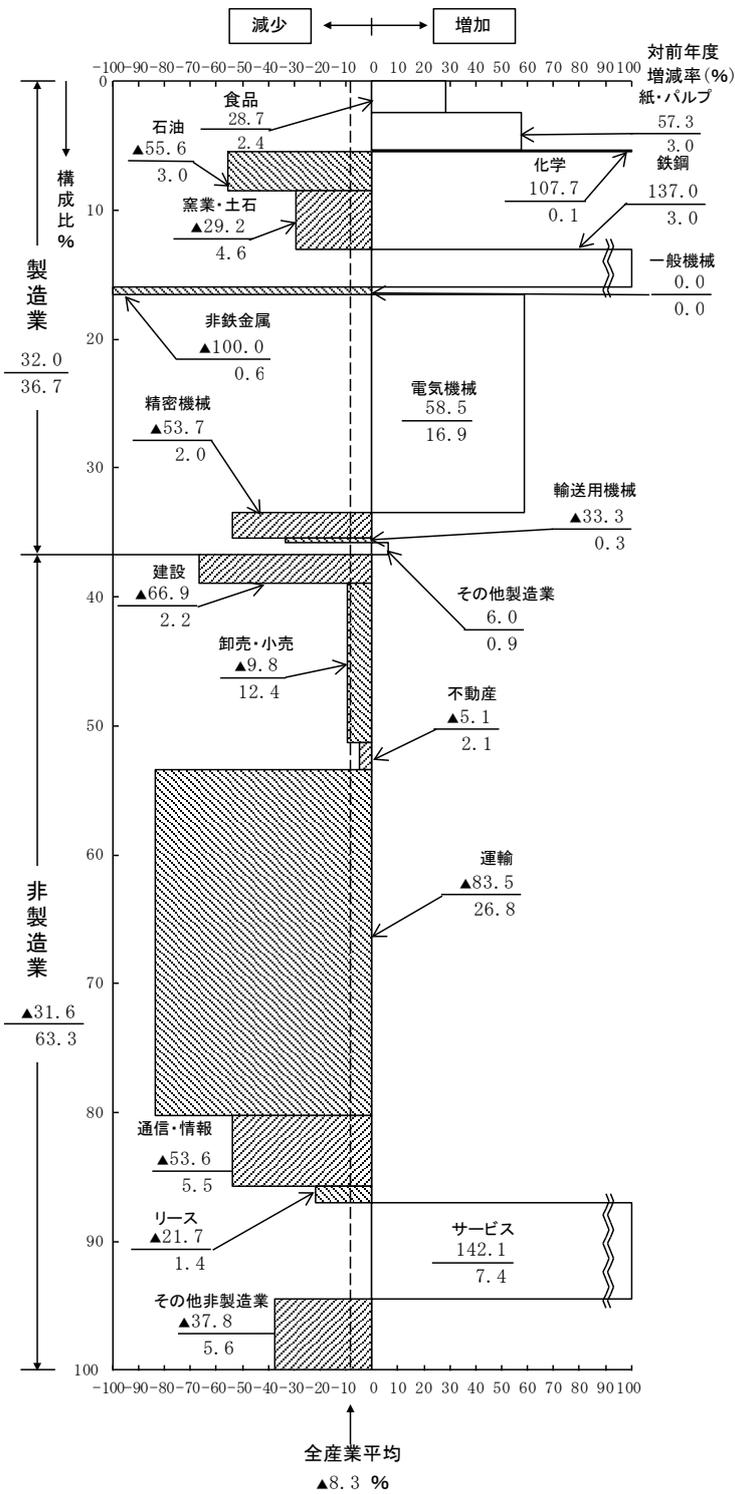


表4-2 2021・2022年度 業種別設備投資動向（除電力・ガス）

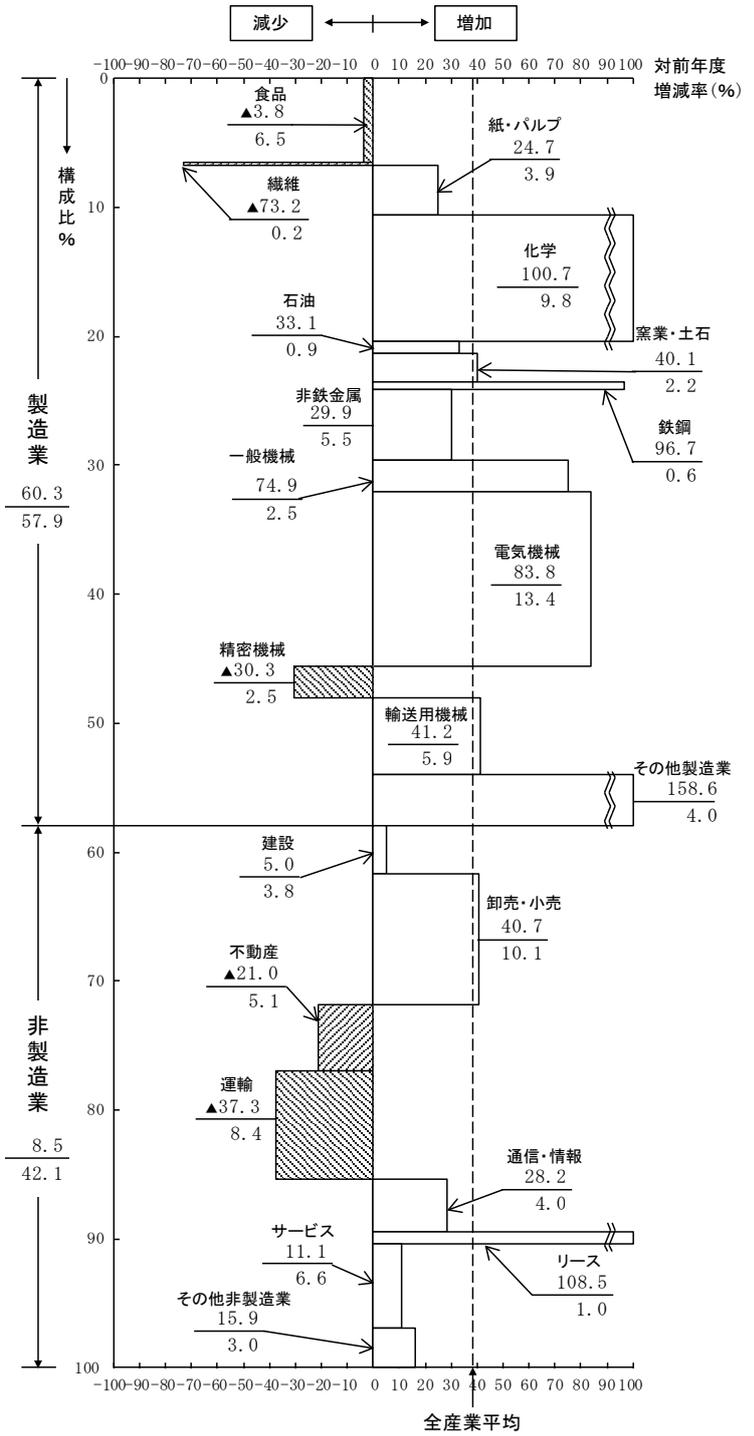
青森

数字は $\frac{2022年度対前年度増減率}{2021年度 構成比}$



東北

数字は $\frac{2022年度対前年度増減率}{2021年度 構成比}$



©Development Bank of Japan Inc.2022

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。



日本政策投資銀行
Development Bank of Japan